

第3学年 国語科学習指導案

1 単元名

誰に投票する？ ―複数の文章を読んで考えよう―

2 単元の目標

- (1) 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。
〔知識及び技能〕 (2) ア
- (2) 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。
〔思考力、判断力、表現力等〕 C (1) イ
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に
して、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」

3 本単元における言語活動

論説などの文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて検討する活動。

(関連：〔思考力、判断力、表現力等〕 C (2) ア)

4 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 ((2) ア)	①「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C (1) イ)	①文章を批判的に読み、自分は誰の提案を支持するか粘り強く考えようとしている。

5 単元について

(1) 本単元を貫く言語活動と扱う教材

本単元では、同じテーマについて書かれた3つの文章を批判的に読む活動を行う。これは、中学校学習指導要領国語編（平成29年告示）の第3学年、〔思考力・判断力・表現力等〕C読むことのア「論説や報道などの文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりする活動」を踏まえている。

中学3年生は義務教育を修了する年であり、3年後にはすべての生徒が選挙権を取得することになる。選挙で自分が誰に投票するかを決めるためには、各候補者の公約を批判的に読み、誰に投票するかを検討することが必要になってくる。そのため、選挙を想定した言語活動を行うことで、社会生活で活用できる力として、文章を批判的に読む力を育てていく。

中学校学習指導要領国語編（平成29年告示）において、文章を批判的に読むとは「文章に書かれていることをそのまま受け入れるのではなく、文章を対象化して、吟味したり検討したりしながら読むことである」とされている。そのため、本単元において「批判的に読む」ことは、「多角的に本文を読み、本文に書かれている内容を吟味すること」とする。本単元では他人の考えを鵜呑みにしないようにするために、他者の意見も参考にしながらそれぞれの文章を批判的に読み、自分の知識や経験と結び付けて考えていく。

本単元では、教科書に掲載されている3つの文章の筆者を選挙の候補者と想定し、それぞれの文章に書かれている内容をただ読むのではなく、誰の提言を支持するかという視点で読んでいく。誰の提言を支持するか決める過程で、「環境問題を解決するために有効か。」「別の見方や捉え方はできないか。」「実現は可能か。」という3つの観点を提示する。そうすることで文章に書かれていることをそのまま受け入れるのではなく、文章を対象化して、吟味したり検討したりしながら、文章を批判的に読む力を育てていきたい。

本単元で扱う3つの文章は、「環境問題を解決するために、今、何が必要か」というテーマについて、3人の筆者の提言が書かれている。具体的には、1人目の真鍋淑郎氏は、根拠として科学的なデータを挙げ、現状や原因を正しく理解することを提言している。2人目の伊勢武史氏は、日常での私たちの消費活動を事例として挙げ、社会全体で環境問題に取り組む仕組みづくりをすることを提言している。3人目の堅達京子氏は、一部企業で始められた取組を事例として挙げ、一人一人が行動することを提言している。このように、それぞれの文章に書かれている提言の内容や事例には違いがある。そのため、文章の内容について、自分の知識や経験と比べて納得できるか否かを検討しながら自分の考えをまとめていくよう指導していく。

(2) 本単元で身に付けさせたい力

本単元の言語活動を通して、「文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考える」力を身に付けさせたい。本単元では、批判的な視点をもって文章を読むために、1つのテーマに対して異なる立場の3人によって書かれた文章を読み、誰の提言を支持するか決める活動を行う。

近年、SNSなどの普及により、子どもたちはさまざまな人の考え方や情報に触れる機会が多くなった。だからこそ、それらの情報を鵜呑みにするのではなく、一人一人が批判的な視点をもって情報と向き合うことが求められている。多様な情報に対して批判的な視点をもって向き合うためには、情報の信ぴょう性なども考える必要があるが、今回は教科書教材を扱うことで、信頼できる情報であることを前提としたうえで批判的な読みを行う。そうすることで、信頼できる発信元の情報であっても、その内容について鵜呑みにするのではなく、自分の知識や経験と結び付け、批判的に読む力を身に付けさせたい。そのため、今回は選挙という場を想定した活動を設定した。そして本単元での学習を通して、今後、どんな情報に対しても鵜呑みにするのではなく、自分の知識や経験と結び付け、必要な情報を自分で取捨選択していく力を身に付けさせたい。

6 指導と評価の計画（全5時間）

時	主たる学習活動	評価する内容	評価方法
1	○本単元の目標を理解し、学習の見通しをもつ。 ○3つの文章を読み、それぞれの文章で提言されていることを確認する。		
2	○それぞれの筆者はどんな事例に基づいて提言していたか、提言と事例のつながりを確認する。	〔知識・技能〕①	発表ノート①
3	○それぞれの提言を観点ごとに3段階で評価し、順位づけする。	〔思考・判断・表現〕①	発表ノート②
4 (本時)	○グループで意見を交流する。 ○グループでの活動を通して、最終的に誰に投票するか自分の考えをまとめる。	〔思考・判断・表現〕①	発表ノート②
5	○どんな理由で投票したかを全体で確認する。	〔思考・判断・表現〕① 〔主体的に学習に取り	Google フォーム

<p>○単元の振り返りを行う。</p> <p>○全体で投票結果を確認する。</p>	<p>組む態度] ①</p>	
---	----------------	--

7 指導計画 (全5時間)

時	主たる学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
1	<p>○本単元の目標を理解し、学習の見通しをもつ。</p> <p>・生徒会選挙の際、各立候補者の公約を読み、なぜその人に投票するのか明確な理由をもって投票できたか振り返る。</p> <p>○環境問題としてどんな問題が実際に起きているか、また、環境問題を解決するために何が必要だと思うか、ペアで交流する。</p> <p>○ペアで話し合ったことを全体で共有する。</p> <p>○3つの文章を読み、それぞれの提言内容を確認する。</p>	<p>・今回の学習のポイントは、「与えられた情報を鵜呑みにしないこと」であることを伝える。</p> <p>・自分が誰に投票するか考えていく過程で、それぞれの提言を読み、与えられた情報を鵜呑みにするのではなく吟味して、文章を読む活動を行うことを説明する。</p> <p>・今回の生徒会選挙同様、実際の選挙はほとんどが競争選挙であることに触れる。</p> <p>・そして3年後自分たちが投票するときに、どんな視点で候補者を選べばよいかを考えるために、今回は3人の筆者を候補者だと想定して学習を進める。</p> <p>予想される生徒の反応</p> <p>・環境問題 →地球温暖化、異常気象、森林伐採</p> <p>・取組 →レジ袋有料化、電気自動車の普及、使い捨てカイロの回収</p> <p>・提言の内容とその根拠を全員が共通認識できるよう、本文の内容を整理する。</p>	

2	<p>○それぞれの筆者はどのような事例に基づいて提言していたか整理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜそのような提言をしているのか、根拠となる事例を見つけさせ、全体で提言と事例のつながりを整理する。 	<p>〔知識・技能〕① 発表ノート① 提言と事例のつながりを理解している。</p>
3	<p>○学習活動の見通しをもつ。</p> <p>○それぞれの提言に対し、観点ごとに「○」「△」「×」の3段階で評価する。 「○」・・・肯定 →本文中の該当箇所に赤で線を引く。 「△」・・・どちらとも言えない 「×」・・・否定 →本文中の該当箇所に青で線を引く。</p> <p>○現時点でどの提言が良いと思うか、順位付けする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時で確認した内容を振り返り、本時ではそれぞれの提言に対して観点ごとに評価し、順位付けすることを説明する。 <p>考える観点</p> <ol style="list-style-type: none"> ①別の見方や捉え方はできないか？ →「本当に？」と突っ込めるところはないか。 ②環境問題を解決するために有効か。 ③実現は可能か。 <ul style="list-style-type: none"> ・「△」を付けた観点について、「○」や「×」にならない理由を教科書の余白にメモをし、次回のグループワークで意見を聞けるようにするよう伝える。 ・全員の提言の全ての観点に評価が書き込めなくてもよいことを伝える。 ・評価を付ける際、本文中に書かれていることと自分の知識や経験を結び付けて考えるよう指示する。 ・必要に応じて、ギガタブを使用して知りたい情報を調べてもよいことを伝える。 <ul style="list-style-type: none"> ・早く終わった生徒は、線を引いた箇所が、考える観点のどの観点の内容に当てはまるか考え、①～③の番号をふるよう伝える。 ・番号をふれた生徒は、線を引いた箇所についての自分の考えやグループワークで班員に聞きたいこと 	<p>〔思考・判断・表現〕① 発表ノート② それぞれの提言について観点ごとに吟味し、順位付けしている。</p>

		などを教科書の余白にメモしておくよう伝える。	
4 (本時)	<p>○学習の見通しをもつ。</p> <p>○前時に考えた内容に基づきグループで意見を交流する。 ・「○」をつけた生徒 →本文の中で赤い線を引いた部分を挙げたうえで「○」をつけた理由を説明する。 ・「△」をつけた生徒 →なぜ「○」や「×」にならないのか、迷っている部分や一人では分からなかった部分について説明する。 ・「×」をつけた生徒 →本文の中で青い線を引いた部分を挙げたうえで「×」をつけた理由を説明する。</p> <p>○グループでの活動などを通して、最終的に誰に投票するか自分の考えをまとめる。</p>	<p>・合意形成を図るためのグループワークではなく、他者の考えを聞くことで、自分自身が多角的に考えることがグループワークの目的であることを説明する。</p> <p>・できるだけ同じ筆者に対して1位にした人と3位にした人が混ざるようにグループを構成する。</p> <p>グループワークのポイント</p> <p>①「△」がついている部分について、「○」や「×」をつけた人と意見を交流する。</p> <p>②同じ人に対する同じ観点に対し、グループ内で違う評価がついている箇所について意見を交流する。</p> <p>・同じグループではなかった生徒の意見も参考にできるよう、一度発表ノートと教科書の写真を撮ったものを提出し、提出箱を「学習者同士で提出物を閲覧できる」設定にしておく。</p>	<p>〔思考・判断・表現〕①</p> <p>発表ノート②</p> <p>グループワークを通して、再度それぞれの提言について観点ごとに吟味し、順位付けしている。</p>
5	<p>○前時の学習を振り返る。</p> <p>○前時に入力したGoogleフォームの回答の中から、選んだ理由の部分だけをスプレッドシートで表示し、クラスメイトがどんな理由で誰に投票したのか、全体で共有する。</p>	<p>・自分がどんな理由で誰に投票したのか振り返らせる。</p> <p>・本単元では、一つのテーマに対して3つの文章を読んだこと、自分の考えだけでなく、他人の考えも聞いたことを振り返り、それが「批判的な読み」であることに気付かせる。</p>	<p>〔思考・判断・表現〕①</p> <p>Google フォーム</p> <p>3つの文章を読み、各提言の内容を吟味し、なぜその人を選んだのか理由を説明することができている。</p>

	<p>○単元の振り返りを行う。</p> <p>○Google フォームを使い、クラスで投票結果を集計する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後多くの情報に触れていく中で、目の前の情報をすぐに鵜呑みにするのではなく、批判的な視点でそれぞれの情報と向き合うことが必要不可欠であることに触れる。 ・集計結果を表した円グラフを、大型テレビに映す。 	<p>〔主体的に学習に取り組む態度〕①</p> <p><u>Google フォーム</u></p> <p>自分は誰に投票するか粘り強く考えようとしている。</p>
--	---	--	---

8 本時の計画（4/5時間目）

(1) 本時の目標

- ・他者と意見を交流することで、それぞれの提言について多角的に考えることができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕C（1）イ

(2) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価方法
導入 (5分)	<p>○本時の見通しをもつ。</p> <div data-bbox="284 1227 1442 1339" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>グループやクラスメイトの意見を聞いて、それぞれの候補者の提言について、いろいろな視点で考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時では、よりいろいろな視点で誰に投票するか考えられるようにするために、他者と意見を交流することを伝える。 	

<p>展開 (35分)</p>	<p>○前時に考えた内容に基づき、グループで意見を交流する。 (15分)</p> <p>意見交流の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○をつけた生徒 →なぜその提言に共感できるのか、本文の中で赤い線を引いた部分を挙げたうえで理由を説明する。 ・△をつけた生徒 →本文のどの部分には納得・共感できて、どの部分には納得・共感できないのか説明する。 ・×をつけた生徒 →なぜその提言に共感できないのか、本文の中で青い線を引いた部分を挙げたうえで理由を説明する。 <p>○グループでの活動などを通して、最終的に誰に投票するか自分の考えをまとめる。(20分)</p> <p>生徒の活動</p> <ol style="list-style-type: none"> ①あらためて教科書に赤線や青線を引き、そこに対する自分の考えを余白に記入する。 ②自分の考えを記入した教科書の写真を撮り、それを貼り付けた発表ノート②を提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループはそれぞれの筆者に対する評価が全く同じにならないようにする。 ・各グループ4人でメンバーを構成する。 ・できるだけ同じ筆者に対して1位にした人と3位にした人が混ざるようにグループを構成する。 ・自分と同じような理由で、違う評価をつけている人はいないか、同じ評価をつけているが、違う理由を挙げている人がいないか、という視点をもてるとよいことを伝える。 ・同じグループではなかった人の意見も読めるように発表ノートの提出箱を閲覧できるよう開放しておく。 ・グループの人の意見を鵜呑みにすることがないように、当初自分はどうのように考えて順位付けしていたのかふりかえり、考えるよう指示する。 	<p>〔思考・判断・表現〕①</p> <p>発表ノート②</p> <p>グループワークを通して、再度それぞれの提言について観点ごとに吟味し、順位付けしている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Cの生徒に対しては、グループやクラスメイトの意見を参考に、誰の意見が自分の考えに近いか考えさせ、その理由を自分の言葉で説明するよう促す。</p> </div>
<p>まとめ (10分)</p>	<p>○振り返りを記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループワークをしてみて感じたことや考えたこと、新しく気づいたことなど。 	<ul style="list-style-type: none"> ・最初に自分だけの考えで評価をつけたときと、他人の考えも踏まえて投票した今とで、3人の筆者に対する意見やその根拠に変化はあったかということに着目させる。 	

(3) 本時の評価基準

- ・他者と意見を交流することで、それぞれの提言について多角的に考えることができている。
- 〔思考力、判断力、表現力等〕 C (1) イ

9 単元の観点別学習状況の評価の総括

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生徒の状況 Bと判断される	<ul style="list-style-type: none"> 文章を読み、情報と情報との関係（提言と事例の関係）について理解し、まとめている。 (発表ノート、観察) 	<ul style="list-style-type: none"> 文章を批判的に読みながら、自分の知識や経験と結び付け、自分が誰を支持するか考えられている。 (発表ノート、ワークシート、観察) 	<ul style="list-style-type: none"> 文章を批判的に読み、自分は誰の提案を支持するか粘り強く考えようとしている。 (ワークシート、観察)